

# ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 635 号  
2014年5月1日  
発行  
アスカ工業株式会社  
〒444-0303  
西尾市中畑町卯新田上28

## 2014年度アルミ製品需要見通し 402万トン (0.5%プラス)

アルミニウム調査会（軽金属製品協会、日本アルミニウム合金協会、日本サッシ協会、日本アルミニウム協会、日本電線工業会、日本ダイカスト協会、アルミ缶リサイクル協会）は、2014年度のアルミ製品需要をまとめ、前年比0.5%増の402万トンとした。

**2013年度の概況** 全般的な景気の回復基調に加えて、2014年度に始まった消費税の増税前の駆け込み需要が自動車、建築、家電などに集中した結果、需要

の大宗を占める圧延品で3.4%の増加、鋳造品とダイカスト品で2.4%の増加となり、総需要は4,001,418トン、2.8%増となった。

**2014年度の見通し** 増税後の反動で、アルミ建材需要全体は前年比9.5%減、また自動車国内需要は15.6%の減少と慎重な見通しが立てられた。

一方、飲料缶の好調に支えられて板類の需要は自動車の不振をカバーして0.9%増となり、アルミ総需要は0.5%増の4,021,890トンと見通した。

### 2014年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会（単位：千トン） ▲印はマイナス

製品	年度	平成24年度実績 2012	平成25年度見込み 2013	平成26年度見通し 2014	対前年度増減率 (%)	
					13/12年度	14/13年度
① 圧延品	板類(内自動車)	976(138)	987(143)	996(136)	1.1(4.2)	0.9(▲5.3)
	押出類(内自動車)	783(132)	831(136)	797(130)	6.1(3.2)	▲4.0(▲4.7)
	計(内自動車)	1,759(270)	1,818(279)	1,793(266)	3.4(3.7)	▲1.4(▲5.0)
② 鋳造品	自動車	393	405	403	3.0	▲0.5
	その他	24	25	26	6.2	0.0
	計	417	430	429	3.2	▲0.4
③ ダイカスト品	自動車	840	863	857	2.6	▲0.6
	その他	112	108	112	▲3.0	3.3
	計	952	971	969	2.0	▲0.2
④	鋳造品・ダイカスト品 計	1,369	1,401	1,398	2.4	▲0.3
⑤	鍛造品(内自動車)	36(27)	37(26)	37(26)	1.8(▲3.9)	▲0.6(▲1.2)
⑥	電線	19	20	20	3.3	2.0
⑦	鉄鋼	133	138	137	3.7	▲0.4
⑧	粉	9	10	9	7.8	▲2.7
⑨	その他	44	46	46	3.9	0.3
⑩	輸入	312	342	350	9.8	2.3
⑪	国内需要 計	3,680	3,811	3,790	3.5	▲0.6
⑫	輸出	211	190	232	▲9.6	21.9
⑬	総需要 計	3,891	4,001	4,022	2.8	0.5
⑭	自動車向け 合計	1,530	1,573	1,551	2.8	▲1.4



4月16～18日

# 第1回 高機能金属展

## 東京ビッグサイトで開催

### メタルジャパン

金属材料に特化した日本で初の見本市「第1回高機能金属展（メタルジャパン）」が東京有明の東京ビッグサイトで、リード・エグジビション・ジャパン株式会社の主催で4月16、17、18日開催された。

銅、アルミニウム、特殊鋼からレアメタルまで、幅広い分野の金属関連企業が150社参加して、電子機器や自動車の高性能部品材料となり、現代社会を支える最先端の金属材料技術が一堂に集積して大きな注目を集めた。

アルミニウム企業では、UACJと神戸製鋼所が高精度の厚板製品などを出品。LNG輸送船で国内100%のシェアを持つUACJは厚板に社名を刻んだプレートでピーアール。

神戸製鋼所はJIS規格製品より平坦度と板厚公差を向上させた「アルジェイド・アルハイス・シリーズ」や、航空機の部品に使われるアルミニウム合金鍛造品や、アルミニウム鋳物などを出品した。

日本軽金属は表面平滑性に優れ、ミラー材やキャリア材での使用が可能なアルミニウム箔「LUXAL（ラクサル）」をはじめ、超々ジェラルミン（7075合金）より引張り強さが2～3割高い高強度7000系合金などを展示した。

三協マテリアル社は主力のアルミニウム合金押出型材や、太陽光発電パネル用アルミニウム架台「サンスラージ」のモデルを展示。

九州三井アルミニウム工業は純度が最高で99.9995%の高純度アルミニウムを出品した。他に日本伸銅協会、日本銅センター、日本チタン協会、日本マグネシウム協会など出展、それぞれの有用性を強調した。

### 基調講演

開幕2日目の4月17日、「各分野のトップが語る高機能金属の将来展望」をテーマに基調講演会が行われ、約1,000人が参加した。

初めに経済産業省製造産業局非鉄金属課長の及川洋氏が「非鉄金属産業の現状と将来展望」と題して以下のように講演した。

非鉄金属産業が製造業全体に占める割合は約2%だが、川下産業の付加価値と競争力の源泉となっている。そして競争力強化のためには成長分野で潜在需要の高いものを見極め、性能や価格の面で徹底的にこだわった技術開発を行うことが必要である。

経済省は2013年度から革新的新構造材料等技術開発の施策を通じ優れた非鉄金属の開発体勢の構築を支援している。

レアメタル・レアアースが典型だが、地域偏在性が高く供給リスクの高いものについてリスク低減の努力が必要。以前に比べひっ迫感は低下しているものの供給構造に基本的変化はなく、引き続き供給に左右されない産業構造・製造工程の確立を政策を通じて目指している。

また、将来にわたり国内需要が頭打ちになる中で、企業が事業再編などを通じ経営資源を合理化することで、新たな市場で成長できる体力を付けることも重要と考える。



及川非鉄金属課長

追悼

岡田宣博氏

株式会社小坂井合金工業所会長の岡田宣博氏は、薬石効なく、4月17日逝去されました。享年79才。

ご葬儀は4月19日、東海典礼小坂井会館でしめやかにとり行われました。ダイカスト業界へ大きなご功績を残され、温厚なお人柄が偲ばれます。謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。



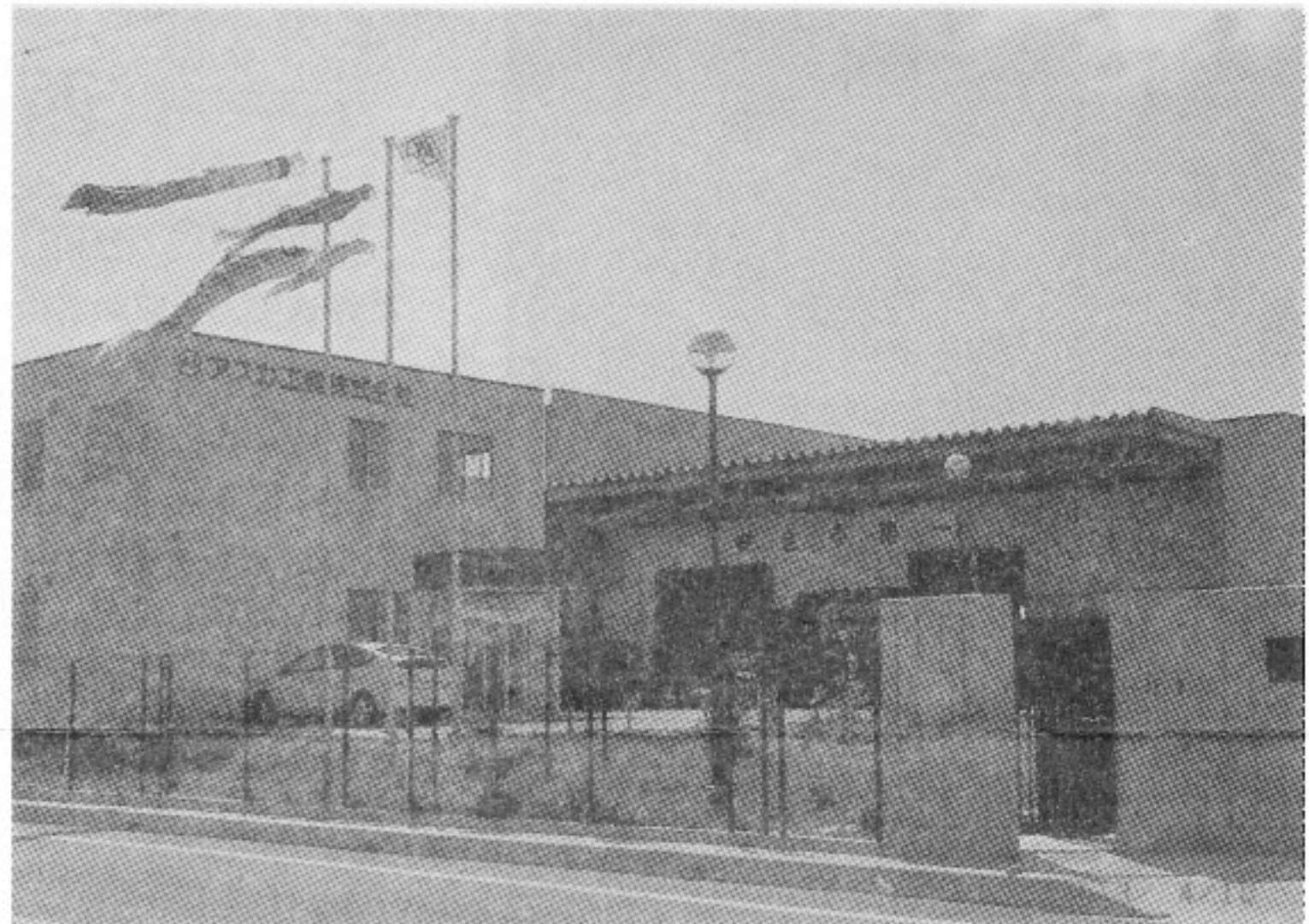
\*\*\*\*\*

さわやかな5月の風によって、鯉のぼりが元気に工場の空を泳ぎます。

工場に隣接する矢作川（やはぎがわ）の堤防は、すっかり新緑の一色となって散策の好適地となりました。

冬中の伊吹おろしと枯野の殺風景な環境から一変しました。

\*\*\*\*\*



## アルミ国際相場の正常化

### LMEの対処は？

#### ジャパン・プレミアムの発生

アルミニウム地金の国際相場はロンドン金属取引所（LME）の市場価格によるという歴史的な常識が、今日当たり前でなくなった。

LMEの相場は、日本の4～6月のアルミニウム現物価格より1トン365ドル（約20パーセント）も安い。この差はジャパン・プレミアムと呼ばれて、LMEの相場とは無関係に上下する、まことに不可思議な存在であり、次第に値上りする傾向にある。

今日、LMEのアルミニウム取引については、荷主が指定倉庫からアルミニウム地金を運び出そうとしても順番待ちの行列ができ、1年近くを要するというまことに異常な事態に陥ったという。

このため、LME市場相場と市場外の現物相場とのズレが次第に拡大の一途をたどりつつあると説明されている。

#### その原因は？

この異常事態の発端は世界に散らばるLME指定倉庫の総在庫が実に530万トンと世界需要の約1割の規模にまでふくらんでいることがある。

また、この異常在庫積み上りの原因は、投資銀行やヘッジファンドがアルミニウム地金の現物を使った金融取引をくり返し、手当てした商品をLME指定倉庫へ入れることによる。

もとを正せば金利の異常な低下政策を主要各国が一斉に行っていることがそもそものスタートである。

これだけの量があると、倉庫から特定の地金を搬出しようとしても、アルミニウム地金の山から探し出すだけで時間がかかるという。

#### LMEの対応

LMEも現状を問題視し、4月から出庫待ち50日以上以上の倉庫は入庫より出庫を多く課す改革案を打ち出して在庫のスリム案を示した。しかし大手製錬会社が一斉に反対、UCルサル（ロシア）に至っては「市場の不透明さが増す」と主張して訴訟問題まで起し、結局LMEは改革中断に追い込まれた。

#### LMEは改革を

反対の背景は、倉庫に地金が滞留していた方が現物需給が引締り都合がいいと云う製錬業界の事情がある。しかし、過剰在庫がつづく、その先はどうなるのか製錬業界は考えた方がよい。

この状況では万年原価割れのLME相場が続いて業界全体に信用不安が発生する懸念がある。大きな過剰在庫が存在する限りLME相場の低迷は続くものと考えたい。

最も不幸な事態は金利の急上昇で、一挙に膨大な地金が倉庫から市中に流出し大混乱に陥る恐れがある。LME改革の早期実現を望みたい。





## — 西 尾 茶 —

矢作川下流の台地は地味が肥え、水はけが良く茶の木の育成に好適で、上質の茶の木が育つ。

新芽は太陽光を遮蔽されて軟らかく育ち、手で摘みとられて高級茶に加工される。抹茶の生産は日本一を誇っており、西尾茶として名高い。この季節、例年地元の若者生産者でつくる「西尾市茶業クラブ」のメンバーが、伝統的な衣装による茶摘みを再現する行事が行われている。

本年は、お茶の木の成長は、順調で霜害もなく、色もかおりも質が高い。

## 社 内 情 報

- ◎4月末日をもって決算をいたしました。在庫たな卸しのため、原料の納入業者と運送関係の方々には大そうご無理をお願いいたしました。
- ◎おかげ様で、とどこうりなくたな卸しができました。ご協力に深くお礼を申し上げます。
- ◎順調な生産と出荷が維持できました。ご関係先の皆様にご厚礼申し上げますと共に、今期も一層のご支援をお願いいたします。

## 編 集 後 記

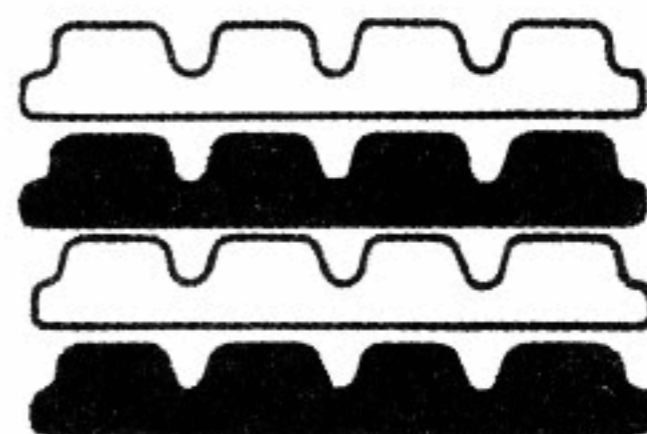
- ▣正門の花壇には、名港海運さん寄贈のチューリップ球根が立派に成長、見事に色とりどりの花が咲きそろいました。
- ▣旧工場から移植のつつじの蕾もふくらんできました。また旧本社から移植のかえでも若葉が出揃ってきて秋の紅葉が期待されます。
- ▣環境の整備が次第に進んできました。工場見学に最適のシーズンです。

## アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 審査登録

# アスカ工業株式会社



〒444-0303  
愛知県西尾市中畑町卯新田上28  
TEL <0563> 77-0500(代)  
FAX <0563> 77-0501  
<http://www.al-asuka.jp/>